

# 学習支援活動の展開

図書館では例年様々な学習支援活動を実施している。2019年度は表1のように開催数は360回、学生等参加者数が13,644人となった。以下に項目ごとに実施状況を報告する。

## 1 多様な学習支援活動の展開

### (1) 図書館主催イベントの開催

4月および10月には図書館や資料に親しみを持ってもらうことを主眼として、主に新入生を対象としたイベント「Library Week」を中央・戸山の各図書館で開催した。(図1および表2参照)。4月には同時期に中央図書館で開催された図書館企画展「第二次『早稲田文学』を飾った挿画たちー本間久雄旧蔵」と連携して広報を行った。



図1 Library Week 展示 / 戸山図書館

### (2) 図書館主催講習会の開催

学生が自主的に受講できる講習会として、中央図書館、戸山図書館、所沢図書館で「図書館情報検索ワークショップ」を春と秋に開催した。春には情報検索、情報検索上級、RefWorks、就活支援、レポートの書き方の各プログラムを合計16コマ実施した。秋には、新WINEの使い

方や英語によるプログラムも加え、合計21コマ実施した(図2参照)。高田早苗記念研究図書館では、商学系・法律系データベースの講習会を春に11コマ、秋に5コマ開催した。理工学図書館では、主に理工系データベースを対象とする講習会を春に3コマ開催した。



図2 図書館情報検索ワークショップ / 所沢図書館

### (3) 学生による学習支援の展開と整備

図書館の公式ボランティア団体「早稲田大学図書館ボランティアスタッフLIVS」は15名で活動し、図書館紹介冊子の発行、Library Week企画への参加、図書館ウェブサイトへの掲載を通して、学生の視点から図書館の魅力や活用方法を発信した(表3参照)。図書館ラーニング・アシスタント(以下LA)は、中央図書館では7名で活動し、2019年度の対応件数は655件と前年度より65件増加した。学習相談に加え、ラーニング・commonsのリニューアルで急増した施設案内や、プリンタ出力案内などの新サービスの対応も行った。また春学期には、図書館情報検索ワークショップの講師を2コマ担当した。所沢図書館では春学期8名、秋学期6名で活動し、対応件数は131件だった。理工学図書館では、5月より3名で活動を開始し、対

表1 2019年度学習支援活動

	学生等参加者数 (人)	図書館職員講師数 (人)	図書館職員 サポート員数(人)	開催数(回)	開催当たり 要員数(人)
1. 学部新入生向けオリエンテーション	4,249	9	20	9	3.2
2. 大学院新入生向けオリエンテーション	935	17	13	17	1.8
3. 教員向け各種講習会(オリエンテーションも含む)	0	0	0	0	0.0
4-1. 授業支援:学部・研究科単位	4,903	64	130	187	1.0
4-2. 授業支援:個別授業・ゼミ対応	2,736	85	110	87	2.2
5. 就職支援	18	1	1	2	1.0
6. 図書館主催企画など	803	37	94	58	2.3
合計	13,644	213	368	360	1.6
2018年度	14,071	223	372	376	1.6
2018年度との比	97.0%	95.5%	98.9%	95.7%	

応件数は10件であった。

#### (4) 新たな学びの場における支援

中央図書館では、2018年度からラーニング・コモンズ整備工事を開始し、2019年4月に2階・3階のActive Areaがリニューアルオープンした。前年度に比べ入館者数が増え、公開後の調査の結果、従来よりもグループ利用や討論が増加していることがわかった。2階グループ学習室は、Library Weekのトークイベント、図書館情報検索ワークショップにも活用されている。2019年10月からは2020年4月の全面オープンを目指し、研究者への支援の可能性も視野にいて、1階閲覧席、地下1階・2階の閲覧個室、4階AVルーム・AVホールなどの改修が行われた。

理工学図書館ではラーニング・コモンズ(第1期)が2019年10月にリニューアルオープン(図3参照)、2020年4月には第2期工事が完成し、学習支援等での利用が検討されている。



図3 ラーニング・コモンズ/理工学図書館

## 2 授業支援の充実・改善

授業内で行う支援は、「4-1.学部・研究科単位」と、「4-2.個別授業・ゼミ対応」を合わせて274回となり、全開催数の76%を占めて学習支援活動の中心となっている(表1参照)。学術院別の開催数、受講者数をみると、例年通り政治経済学術院・文学学術院が開催数の62%、受講者数

### 表2 Library Week実施企画一覧

#### 2019春

主催	企画	概要
中央図書館	中央図書館セルフツアー	館内10か所に設置されたポイントをめぐり、クイズに答えるスタンプラリー形式のツアー。
	ライブラリーコンサート	学生音楽団体(「早稲田大学マンドリン楽部」「早稲田大学津軽三味線愛好会 三津巴」「早稲田大学ギタークラブ」「早稲田大学ギターソサエティ」)が、昼休みの20分程度で中央図書館大階段踊り場で演奏した。
	展示「お気に入り図書館スポットはここ!!～みなさんの投稿で満開の桜を咲かせよう!～」	掲示したB2～4階の図書館フロアマップのお気に入りの場所に丸シールを貼ってもらい、お気に入りの場所に関するコメントや図書館への意見・感想などを、桜型の紙に書いて投稿してもらった。
	展示「中央図書館カウンタースタッフのオススメ!」	カウンタースタッフのお薦め図書を解説付きで展示した。
	展示「新入生に贈る一行」	図書館ボランティアスタッフLIVSメンバーが選定した、新入生に贈る一行を中央図書館内(2・3階の壁、柱)で展示した。
戸山図書館	戸山図書館セルフツアー	戸山図書館の各階に設置されたポイントをめぐり、クイズに答えるスタンプラリー形式のツアー
	展示「早稲田の歌」	校歌ほか、早稲田大学の歌に関連する資料を展示した。

#### 2019秋

主催	企画	概要
中央図書館	中央図書館セルフツアー	館内10か所に設置されたポイントをめぐり、クイズに答えるスタンプラリー形式のツアー。
	ライブラリーコンサート	学生音楽団体(「早稲田大学マンドリン楽部」「早稲田大学津軽三味線愛好会 三津巴」「早稲田大学ギタークラブ」「早稲田大学ギターソサエティ」)が、昼休みの20分程度で中央図書館大階段踊り場で演奏した。
	トークイベント～教室の外で先生の話を聞いてみませんか?	グループ学習室2において、3名の先生方(鎮目雅人先生、三尾忠男先生、嶋村和恵先生)に、図書や図書館に関することを45分で話してもらった。
	展示「地図マニア@都の西北」	早稲田界隈の古今東西の地図や関連図書を展示した。また早稲田周辺の白地図を用意しお薦めのスポットを書き込んでもらった。
戸山図書館	展示「戸山図書館スタッフのタイトルが気になる本」	利用者の目を引くような特徴的なタイトルの図書を展示。その一覧も配布した。
	展示「戸山図書スタッフのオススメ!」	カウンタースタッフのお薦め図書を解説付きで展示した。

の48%を占めているが、これは主にそれぞれ「基礎演習」、「必修基礎演習」という学部1年生全員が対象の授業を支援していることによる(文学学術院は希望クラスのみ)。講師はアカデミック・リエゾン(利用者に接する業務を担当する図書館職員)25名(2020年3月末現在)で担当し、1人あたりの平均担当回数は講師8.5回、サポート員14.7回となった。

各支援で取り上げられるWINEシステムの説明を、2019年9月公開の新システムに合わせるなど、随時教材を改善する他に、以下の取り組みを行った。

### (1) 授業や自習に活用できるコンテンツやプログラムの提案

授業支援の内容を、教員に活用してもらえるよう、また自習の教材ともなるようにコンテンツ、プログラムを整備した。政治経済学部や文化構想学部・文学部の初年次教育の支援内容を授業支援ポータルCourseN@viにアップした。理工学図書館では図書館ガイダンス、図書館主催の講習会の投影資料を理工学図書館Webサイトに掲載した。新WINE導入に伴い、図書館Webサイト掲載の情報検索の手引き「リサーチNAVI」や「ガイド&チュートリアル」の内容も改訂した。

### (2) 授業支援を支える体制の整備

文学学術院では学術院予算で必修基礎演習担当のTAを、法学学術院では同様に高度授業TAを雇用し、授業支援への参画を得た。データベース講習会や就職支援企画では、データベース提供元の協力を得て専門の講師による講習も実施した。また、教育・総合科学学術院の日本文学基礎演習では「わせポチ」(スマートフォンで行うアンケート機能)を試行した。

## 3 学習支援活動の広報と学内連携の強化

授業支援やイベントの広報は、図書館ウェブサイト、早稲田ウィークリー、MyWasedaの個別通知、ポスター、サイネージ、立て看板、SNSにより行った(図4参照)。

学内連携では、「図書館情報検索ワークショップ」のうちレポートの書き方8コマを、中央、戸山、所沢の各図書館とライティング・センターで共催した。これは戸山図書館では初めての試みであった。職員対象の研修では人事課に協力して新入職員研修を実施した。また、LA

の運用について、ポータルオフィス、ライティング・センターと情報共有や広報で連携した。グローバルエデュケーションセンターには、新入生対象のオンデマンドセミナー「わせだライフABC」のコンテンツを新規収録して提供した。



図4 Library Week広報の様子 / 中央図書館

## 4 2020年度の取り組み

2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年度春学期の授業は5月11日から、原則としてオンラインで行うこととなった。これにより学習支援活動は大きな影響を受け、イベントや授業支援の延期・中止・実施方法の変更を迫られている。図書館としては事態の趨勢を見守りつつ、オンラインでの実施に備えて可能な限り準備を進めており、関係者に大きな負担がかかる一方で、今後の新しい授業支援の形を模索する機会になり得ると考えている。

施設面では中央図書館、キャンパス図書館で整備が完了したラーニング・コモンズを活用した学習・研究支援について、引き続き検討を進めたい。

### 表3 LIVS企画一覧

企画	概要
展示「新入生に贈る一行」	春のLibrary Weekの一環として実施。
図書館紹介冊子『りぶまぐ!』配布	『りぶまぐ!』のVol.4を4月に刊行し、中央図書館では200部を配布した。中央図書館・戸山図書館の施設や、早稲田ゆかりの図書を紹介などをテーマとした。
わせとしょ探検隊! -発掘!早稲田のBBN-	図書館ウェブサイトでの連載(第13回~第15回)。地下書庫、バックナンバー書庫に配架されている資料を、図書館ボランティアスタッフLIVSメンバーが実際に調査し、その過程を含めて魅力を紹介した。